

学長メッセージ  
遠隔授業への移行について

2022年1月17日

学長 星 文彦

1月14日に、学長メッセージとして、感染への注意喚起をお願いし、授業は対面中心の従来の授業形態で進めていくこととしていましたが、先週末さらに本学学生、教職員の複数の感染事例が明らかとなりました。PCR検査を受検する者も急増しています。新型コロナウイルスのオミクロン株による感染拡大が急速に進み、本学でも新年になりすでに8名の感染者が出ています。

学生、教職員の急激な感染拡大を受け、次のように対応することとしました。

学生の皆さんの安全な学習環境を維持しながら学業の目標を達成するために、さらに4年生の国家試験受験を考慮し、1月17日より後期終了までの期間、授業は遠隔を原則とします。

遠隔では対応できない学内実習、試験、臨床実習については、感染予防を徹底し対面での実施を可能とします。

どうか学生の皆さんには、急遽の遠隔授業への移行について、ご理解をいただきますようお願いいたします。

今一度、学内、学外を問わずマスクの着用・三つの密の回避・黙食、会食や外出の自粛などの感染予防行動を心がけ、教育活動と学習コミュニティの維持のために、大学の構成員の一人として主体的な予防行動に協力をお願いします。

鼻水、咳、発熱など風邪症状を感じたら、登校を避け「新型コロナウイルス感染症マニュアル」に従い行動し、学年担任、大学危機管理担当窓口にご相談をしてください。

よろしくようお願いいたします。